

## WWA JAPAN WAKESURF 出場選手のためのルール 2024

本規則の適用範囲 - 本規則は、2024 年世界ウェイクアソシエーション大会の運営と組織について規定する。(本規則は、特定の変更、補遺、例外が配布されない限り、最終的なものとする。各選手、大会主催者、関係者は、WWA の全規則を熟知する責任がある。

WWA JAPAN の大会において The WWA と一部異なる点があることは、WWA JAPAN の大会に参加および関係者は知っておく必要がある。

競技時間 - すべてのライダーは、掲示された競技開始時間の 30 分前には会場に到着し、競技の準備をしていなければならない。WWA および/またはイベント主催者は、いつでもスケジュールを変更/修正する権利を有する。WWA は、ライダーが自分の部門の開始予定時刻の 90 分前までに会場に到着していることを推奨する。点呼時不在の場合、失格とする。

### 選手と役員の行動:

個人的な出演 - 選手および役員は、メディアおよび地元スポンサーのために手配された出演に同意するものとする。

ドレスコード - 選手およびオフィシャルは、WWA が指定する催しにおいて、WWA ドレスコードを遵守しなければならない。ライダーは、主催者がコンテスト中にライダーが会場で使用、着用、または表示する広告物を管理または禁止する権利を有することに同意しなければならない。

スポーツマンシップに反する行為 - スポーツマンシップに反するとみなされる行為、または WWA、スポンサー、またはその人の母国連盟の信用を失墜させるような行為を、コンテスト期間中、コンテスト会場の内外を問わず行った競技者または役員は、WWA チーフジャッジの判断により、罰金および/または失格となる場合がある。スポーツマンシップに反する行為とは、公衆の面前での下品な言葉の使用、公衆の面前での癩癩、最大限の可能性を引き出すライディングをしないこと、指定された行事やイベントに出席しないこと、競技中にアルコール飲料を摂取すること、WWA 会員でないなど虚偽の申告で競技に参加すること、重大なけがや健康上の問題を隠すことなどが含まれるが、これらに限定されるものではない。この方法で失格となったライダーは、そのコンテストの賞金とすべてのポイントを没収される。本項は、いかなる個人の法的権利を否定または制限するものと解釈されてはならない。罰金はすべて世界ウェイク協会に支払われなければならない。罰金を支払わなかった場合、罰金を支払うまで今後のコンテストから除外される。

### 行動:

スポーツマンらしくない行為-100~500ドルの罰金および/または失格処分

ゼッケンなし-イベント前またはイベント中:100ドルおよび/または失格

不適切な服装-100ドル

WS ランキング 15 位以内で、表彰式に出席しない場合-200ドルの罰金および失格

スターティング・ドック、アナウンサー・スタンド、ジャッジ・エリアへの関係者以外の立ち入り-100ドルおよび/または失格

器物損壊およびホテルでの行為 - 会場内、ホテル、および/またはその他の器物損壊を引き起こす可能性のある行為に関与した選手または役員は、失格または罰金を科されることがある。発生した損害はすべて自己負担となり、それに応じて請求される。

開催地ホテルにおいて、スポーツマンシップに反する行為とみなされる行為に関与した選手または役員は、失格または罰金を科されることがある。

大会開催前のコースでの練習 - WWA またはイベント主催者が事前に選んだ特定のライダーに対し、イベント関連のメディア出演や、イベントの最善の利益のために許可を与えるものとする。許可されるライダーの量とタイプは、WWA および/またはイベント主催者の裁量による。このルールに違反した場合、罰金またはコンテスト失格となる。

名前・肖像の使用 - すべてのライダーは WWA に対し、イベントプロモーション、放送、報道という限定された目的のために、コンテストウィーク中に撮影された参加者の写真、テレビ、動画に参加者の名前または肖像を使用する非独占的権利を与え、本号に基づくこの使用权は2026年の1日に終了するものとするが、NBC スポーツまたはその他のネットワークは、参加者の肖像と名前を含むコンテスト中継の再放送を続けることができる。

#### **安全:**

賠償責任 - WWA の全選手および役員は、大会に参加する際、ウェイクスポーツ競技に内在する可能性のある危険を認識し、承諾するものとし、現地でライディングまたは審判を行う前に、その旨のリリースに署名するものとする。WWA JAPAN は大会開催時イベント保険に加入するが、全ての事例をカバーするものではない。選手は参加前に個人で保険に加入していることを推奨する。WWA は、競技会関連行事中、移動中、あるいはここに記載されていない公式、その他いかなる立場における WWA 選手の負傷に対しても、一切の責任を負わない。潜在的に危険な状況を発見した WWA 選手または関係者は、直ちに WWA スタッフまたはイベント主催者に通知する責任がある。

#### **定義:**

ウェイクスポーツ競技または WWA のイベントに参加する者を、以下「参加者」という。「被免責者」とは、参加者が 18 歳以上の場合は参加者のみを意味し、参加者が 18 歳未満の場合は参加者と参加者の親または法定後見人の両方を意味する。「被免責当事者」とは、以下を意味する:ワールド・ウェイク・アソシエーション(WWA)、そのスポンサー、イベント主催者、会場所有者、所有権者、関連団体、保険会社、代理人、従業員、代表者、競技役員、譲受人、役員、取締役、会員、株主。「活動」とは、ウェイクスポーツ競技または WWA イベントに参加し、ウェイク施設またはボートをいかなる目的でも使用することを意味する。

#### **活動のリスク:**

被申立人は、本活動に参加することは危険であり、体的傷害および/または死亡の危険を伴う可能性があることに同意し、理解する。署名者は、本活動が本質的に危険なものであることを

認め、本活動に参加することの危険性を十分に認識する。本活動のリスクと危険には、参加者の過失、水の状態、潮の流れ、航跡、他の参加者、水上バイク、その他の人工物および自然物との衝突、気象条件、転覆、沈没、風雨への暴露、滑落、設備の故障および/または欠陥、オペレーターのミス、上記のいずれかにさらされることによる精神的苦痛、および他者の過失が含まれるが、これらに限定されない。また、参加者は、参加に先立ち、参加者自身の用具を含め、使用する施設や用具を点検し、安全でないと判断した場合は、直ちにコーチまたは監督者、競技役員にその旨を書面で通知し、参加を拒否することに同意する。

**免責、補償、および危険の引き受け：**

参加者が本活動に参加することを許可された対価として、被申立人は以下の事項に同意すること；

参加者または親権者が署名する未成年者が、WORLD WAKE ASSOCIATION(以下、WWA)の競技／スポーツプログラムおよび関連イベントや活動に何らかの形で参加することを許可される対価として、参加者は自分自身、相続人、後継者、および該当する場合は親権者が署名する未成年者のために、以下のことを行うこと：(1) 参加者は、参加に先立ち、参加者自身の用具を含め、使用される施設および用具を点検し、参加者が安全でないと考えるものがあれば、直ちに、そのような状態であることを書面にて、自身のコーチまたは監督者および大会役員に報告し、参加を拒否することに同意すること；(2) 各参加者は、参加者自身の行為、不作為、過失だけでなく、他者の行為、不作為、過失、競技規則、施設や使用する用具の状態によっても、後遺障害や死亡を含む重大な傷害、深刻な社会的・経済的損失が生じる危険性を伴う活動に参加することを認識し、十分に理解すること。さらに、WWA が知らない、あるいは現時点で合理的に予見できない他のリスクが存在する可能性があること、(3) 前述のすべてのリスクを引き受け、そのような傷害、後遺障害、死亡に伴う損害に対する個人的責任を引き受けること；(4) WWA、その提携クラブまたはその他の提携団体、それぞれの管理者、理事、代理人、コーチ、および従業員、他の参加者、後援機関、スポンサー、広告主、参加部門の国内統括団体、コンテスト関係者、および該当する場合は、WWA を免除し、放棄し、免責し、訴えないことを誓約し、補償し、無害にし、防御することに同意する、以下「被免除者」と称する)に対し、被免除者の過失またはその他により、その全部または一部が引き起こされた、または引き起こされたと主張される、死亡または物的損害を含む人身傷害を理由とする請求、要求、損失または損害について、参加者、その相続人、親族および友人に対する一切の責任を免除する；(5) 参加者が何らかの傷害の結果、自らそのような治療を承認できない場合、参加者に代わって必要となり得るすべての合理的な医療および外科的治療を WWA が求めることを承認する；

**未成年者の同意：**

未成年の参加者の場合、署名した親権者または法定後見人は、本規約に本人の代理として署名するだけでなく、未成年者の代理として署名し、未成年者が本規約のすべての条項に拘束されることを認めるものとする。さらに、未成年者の親または法定後見人として本契約に署名す

ることにより、親または法定後見人は、未成年者が他に有する可能性のある権利を、未成年者に代わって放棄することになることを理解する。署名した親権者または法定後見人は、上記がなければ、未成年者が本活動に参加することは許可されないことに同意する。親または法定後見人の署名なしに本契約に署名することにより、参加者は、詐欺の罰則のもと、18歳以上であることを表明する。未成年の参加者の親または後見人として署名する場合、署名する成人は、未成年の参加者の法的な親または後見人であることを表明する。

#### 医療:

被申立人は、被免責当事者および/または被免責当事者から委任を受けた職員が、参加者の医療を要請すること、または医療が必要であると職員が判断した場合、参加者を医療施設または病院に搬送することを承認する。被申立人は、そのような医療および関連する輸送に関連するすべての費用を支払うことに同意する。

#### その他:

被署名者は、さらに以下の事項に同意し、理解するものとする:(b) 本契約はフロリダ州法に準拠するものとし、本契約に起因する請求の専属管轄権および裁判地は、フロリダ州ポーク郡に所在する州立裁判所とし、被申立人は同裁判所における管轄権に明示的に同意し、承諾するものとします;(c) 参加者はWWAに対し、トレーニング、競技、デモ、またはその他のWWAのイベント中に撮影された参加者の写真、テレビまたは動画において、参加者の名前または肖像をイベントプロモーションの目的で使用する非独占的権利を許諾する;(d) 本契約は両当事者間の完全な合意を構成し、口頭か書面かを問わず、本契約の主題に関連する両当事者間のあらゆる以前の契約、取り決め、コミュニケーション、または表明に取って代わるものである。本契約の一部が執行不能とみなされた場合でも、残りの条項は当事者間で執行可能な契約とする。本契約が、被控訴人の譲受人、代位者、販売業者、相続人、近親者、遺言執行者、および個人的代表者を拘束することは、被控訴人の意図するところである。

**安全装備:** - すべての出場者は、ライフジャケット、または意識を失った出場者を絶対に浮かせるライフジャケットを着用しなければならない。

**転倒したライダー:** - 競技場によっては公共の場であるため、また競技者の安全のため、転倒したライダーは、WWA 代表者の指示がない限り、泳いだり歩いて上陸したりする代わりに、レスキュー艇を利用しなければならない。

**新しい会場:** - WWA にとって新しい会場の場合、その会場が競技会を開催したことがあろうとなかろうと、予定されている競技会のかなり前に、WWA、オフィシャルおよび/または競技者代表(WWA に無償で提供された場合)によって検査されるものとする。これは、安全上の危険を排除するために必要な会場レイアウトや特別な会場準備を決定するためである。WWA はいつでも修正する権利を有する。

**ボード:** オーシャンスタイルボード、ウェイクサーフィンボード、スキムボードは、出走前にオフィシャル/ドックスターターがチェックを行うことがある。

**ウェイクサーフボードのタイプ、スキムスタイルとサーフスタイルのボード:**

### ①ウェイクサーフィンクラス

ボードの厚みが 2.54 センチ(1 インチ)以上で、最低 2 枚の高さ 7.62 センチ(3 インチ)以上のフィン。

### ②ウェイクスキムクラス

ボードの厚みが 2.54 センチ(1 インチ)以下で、高さ 5.08 センチ(2 インチ)以下のフィン 1 枚のみ、もしくはフィンなし。

### ③オーシャンサーフィンクラス

ボードの厚みが 2.54 センチ(1 インチ)以上で、フィンを取り付ける場合はフロントフィン 2 枚の高さ 7.62 センチ(3 インチ)以上のフィン。 オーシャンサーフィン用に作成されたボードに限る(ウェイクサーフィンボードの使用は認めない)

すべての部門において、WWA は、使用された場合に不当な競争上の優位性をもたらすか、または負傷の不当な危険をもたらすような機材、サーフ、スキムのデザイン、改造されたボードなどの使用を制限または禁止する権利を有する。

**支給されたビブス:**選手には、メディアライディング、予選、実際の競技、インタビューの際に WWA が支給したビブスの着用が求められる場合がある。競技中にビブスを着用していない選手は、失格および罰金を科される可能性がある。

ビブスは必ず指定したものを着用すること。これを守らなかった場合、罰金が科せられる場合がある。

**リストバンド:**選手には、WWA が支給するリストバンドを、会場内およびイベント会場外において、必要に応じて常時着用させることがある。リストバンドは受付時に選手の腕に装着され、イベントが終了するまで外してはならない。リストバンドを紛失し、別のリストバンドを選手に提供しなければならない場合、10 ドルの手数料が選手に請求される。リストバンドを破損した場合は、登録担当ディレクターにリストバンドを返却しなければならない。貸与、共有は認めない。違反した場合、罰金が科せられる場合がある。

**会員資格:** - すべての競技者は、現在 WWA の競技会員でなければならない。また、**日本国籍、日本に住所を置く者は併せて JWSA の会員でなければならない**。競技に先立ち、競技者は WWA の契約書に署名し、スポーツの性質とその特別なリスク、特にプロフェッショナルなフォーマットにおけるリスクを理解しなければならない。競技に先立ち、競技者は必要書類(情報アンケート、契約書、権利放棄書、W9 または W8)を登録ディレクターに提出しなければならない。

**エントリーフィー:** - エントリーフィーはエントリーフォームと同時に支払うこと。イベントごとのエントリー料は、延滞料も含めて公式エントリーフォームに記載されている。

**エントリー締切日とレイトフィー:** エントリー締切日は、公式エントリーフォームおよび大会ウェブページに記載されている。エントリー用紙に記載されている「2 週間エントリー締切日」またはその他の適用される期限までに、エントリー用紙(支払いを含む)が登録ディレクターに届かなかつた場合は、ライディング前にレイトフィーを支払わなければならない。コンテストに申

し込むための最終期限は、登録ディレクターに従うものとする。場合によっては、本大会からの事前の通知により、申し込み可能なライダーの上限が設けられることがある。最大人数に達した後はいかなるライダーも登録することはできない。

支払われたエントリー代は返金しない。大会が何らかの事情により中止した場合、繰り越しが不可能な場合は、経費を差し引き一部返金されることがある。返金の対象となるエントリーキャンセルは、Eメールでのみ受け付ける。

**脳震盪ポリシー:**ポートクルーはライダーが脳震盪や頭部外傷を起こしたと思われる場合、直ちにスタッフに無線で連絡する。救命士は選手を評価し、脳震盪の疑いがあるかどうかを判断する。脳震盪の疑いがあると判断した場合、ライダーは直ちに競技から外される。選手が未成年の場合、WWA スタッフはこの時点で親または保護者に通知する。

受傷後 WWA は、脳震盪の評価に精通した医療提供者による評価を受けることを推奨する。選手は医療提供者から参加再開の許可を与える書面を提出するまで、WWA イベントに参加することはできない。

**罰金:** 未払いの罰金は、イベントに参加する前に支払わなければならない。

けがによる払い戻し—大会前週に病気やけがをした場合、該当するライダーは登録ディレクターに連絡しなければならない。出走順に名前が記載される前に連絡がない場合、払い戻しは受けられない。全額の払い戻しを受けるには、医師の診断書に署名したものを登録担当ディレクターに提示し、審査を受ける必要がある。偽造はスポーツマンシップに反する行為とみなされる。医師の診断書は、払い戻しを受けるためには、イベント開始日から 21 日後の午後 5 時(米国東部標準時)までに受理されなければならない。それ以降の返金は認められない。

**競技会開始後:** 予選ラウンドおよび／またはそれ以降のラウンドに出場した後、負傷により競技者が出場できなくなった場合、その競技者の出場枠は空席となる。その後のラウンドに出場できなくなった競技者は、ランキングリストのポイントを獲得し、出場できなくなったラウンドの最後尾の順位に就く。次のラウンドでは、その順位に代わりのライダーが入ることはない。

**競技部門:** アダプティブ、オープン、プロ部門を除き、競技部門は男女別、年齢別に分けられる。年齢区分の決定には、その年の 1 月 1 日現在の年齢が使用される。すべての選手は、出生時に割り当てられた性別で出場しなければならない。選手が他の部門に出場できるのは、よりハードな競技部門に移動した場合のみである。他の部門への移動は、チーフジャッジとイベント主催者の両方が承認しなければならない。選手は 1 種目につき 1 部門にのみ出場できる。

年齢または性別に関する抗議があった場合: 抗議を受けた部門の表彰は 14 日間保留される。

年齢または性別に関する抗議は、以下のいずれかをもってのみ解決することができる:

出生時の年齢および／または性別を明確に証明する、変更されていない出生証明書の原本を提示すること。

本人のかかりつけの医師による、出生時の年齢または性別に関する宣誓供述書。

選手が 14 日以内に回答しなかった場合、当該選手は競技失格となる。

年齢または性別の正式な抗議に関連するすべての費用は、当該参加者の負担となる。

大会主催者は、オープン男子およびオープン女子の部門を設けることができる。これらの部門は、参加者の出生時の性別によってのみエントリーできるものとする。

大会主催者は、独自の判断により、オープン部門を設けることができる。この部門が提供される場合、年齢、性別に関係なく、出生時に割り当てられた性別の証明がなくても出場できる。各部門は、各コンテストディレクターの独断で新設または統合されることがある。プロを除くすべての部門は、アマチュアの年齢別大会とみなされる。賞金が出るのはプロ部門のみで、その他の部門に賞金が出ることもある。

**アダプティブ・スタンディング部門:**四肢欠損(外傷、病気、先天性四肢欠損(腕または脚))の結果、骨または結合部の全部または一部が欠損している選手)または視覚障害者に限る。

**アダプティブ・シットボード部門:**座って乗り、腰から下の手足が不自由で、サーフィンのために立つことができない。パラプレジック。

**新規部門の開設と統合:**イベント開始 30 日前までに 4 名以上の参加者が確定している場合、イベントディレクターの判断により、新しい部門を開設することができる。新規部門の開設については、メールにてアナウンスする。また、人数が少ない場合、ディビジョンや年齢別を統合することがある。

#### コンペティション:

競技時間／準備 - すべての選手は、その部門の掲示時間の 1 時間前に、WWA 代表者またはスコアキーパーに、現在の WWA メンバーシップを記入した上でサインしなければならない。18 歳以上の選手は自分自身でサインしなければならない。他の人(保護者)がサインすることはできない。WWA とチーフジャッジは、ライダーがライディングできるかどうかの最終決定を下す権利を有する。WWA/イベント主催者はいつでもスケジュールを変更/修正する権利を有する。すでにサインインしている場合、WWA はライダーが自分の部門の開始予定時刻の 1 時間前までに会場に到着していることを推奨する。

すべてのライダーは競技開始時刻の 30 分前には会場に到着し、競技に参加できる状態になっていなければならない。どの部門も、掲示された開始時刻の 90 分前まで開始を早めることができる

同一ライディングコンディション - ウェイクスポーツはアウトドアスポーツであり、観客にアピールすると同時に競技を提供するようにデザインされているため、同一および/または理想的なライディングコンディションを保証するための時間のかかる措置は、WWA チーフジャッジのみの裁量に委ねられる。コンディションのばらつきに基づく再ライディングのリクエストは認められない。

悪天候の場合 - 「悪天候」に関する決定は、WWA スタッフおよび影響を受ける競技者のみが責任を負うものとする。悪天候の規定は、それ自体が荒天である場合だけでなく、ライディングを著しく困難にする、あるいはパフォーマンスに重大な影響を与える可能性のある天候や水の状況にも適用される。

WWA スタッフは、安全性と公平で魅力的なイベントを提供するために必要と思われるライデ

イング仕様の変更を決定する。そのような変更には、ボートスピード、ボートパターン、コースの長さ、フォーマットの変更が含まれるが、これらに限定されない。大会のラウンドが指定され、ライディングが開始された時点で、コンディションが改善されたとしても、「悪天候」の指定はその Division またはヒートの全選手に適用されるものとする。イベント、展示会、メディアによるデモンストレーションは、暴風雨が近辺にある場合、開始または継続してはならない。

イベントスケジュール:

WWAJ は、大会を円滑に行うために、イベントスケジュールを変更する権利を有する。すべての変更はイベントの最善の利益のために行われる。

WWA は各競技イベントを完了し、勝者を宣言するために最善の努力を払う。WWA 独自の裁量で、最後の手段としてのみ、競技を完了し勝者を確定するために必要であれば、ラウンドを延期または統合することができる。

競技が終了し、その競技の全ラウンドが少なくとも 1 回開催された場合、順位とランキング表のポイントが計算される。不公平な状況を作り出すような方法でイベントが変更された場合は、この限りではない。最終的な判断は WWA に委ねられる。

**賞金減額規定:** - WWA は、イベントが中止された場合、または不完全であった場合、賞金を減額する権利を有する。WWA はイベントを完全にキャンセルし、賞金を支払わない権利、または別の時期にイベントを再スケジュールする権利を有する。

**ボートスピード:** - ライダーはドライバーに希望するスピードを伝えなければならない。これを明確にするのはライダーの責任である。波の高さについても同様とする。

**ライダーの準備:** - 出走順が回ってきたときに、すぐにライディングできる状態になっていないライダーは失格となる。

**安全装備:** - すべての出場者はライフジャケット、または意識を失った出場者を絶対に浮かせるライフジャケットを着用しなければならない。

**安全上の理由で失格となる場合:** - 走行中に承認されたライフジャケットを着用していない選手は失格である。失格となった選手は、失格となったランの得点は得られず、失格となったヒートの順位は最下位となる。

**ボートへのコミュニケーション:** - ライダーは標準化された WWA シグナルを使用し、可能であればボートを停止させないこと。故意の遅延行為はスポーツマンシップに反する行為とみなされ、罰金または失格の対象となる。周知のライディングシグナルに加え、以下のシグナルが適用される。適宜組み合わせで使用すること。

1. 親指を立てると速く進む。
2. 親指を下に向けると、ゆっくり進むことを意味する。
3. ある機器を指さすことは、その機器に問題があることを意味する。
4. 水中にゴミや浮遊物がある場合、そのゴミや浮遊物を指で指し示す。
5. 転倒したライダーは、けがや危険がある場合、トローイングボートまたはセーフティチームに戻ってくるよう指示しなければならない。

**用具の不具合:** - 用具が故障した場合、ライダーは 5 分間で用具を修理することができる。ジャッジはチーフジャッジを呼んで時計をスタートさせ、チーフジャッジがジャッジに時間をカウントダウンする。用具が故障しているかどうかの最終判断はチーフジャッジが行う。用具の修理はボート上でも、必要であればドックでも可能である。ボート上での修理の場合はライダーがボートの後ろに乗った時点、ドックでの修理の場合はライダーがドックに足を踏み入れた時点のいずれかがタイムスタートとなる。ライダーがドックに戻ることを選択した場合、ドックに上がるまで修理はできない。ライダーがボートの上で修理に取り掛かった場合、その瞬間からそのライダーのタイムがスタートする。時間が経過する前にボートに乗り込み、修理を完了させなければならない。選手は水中でピックアップされたのと同じ場所で走行を再開する。用具の故障は Fall としてカウントされる。

**抗議(全部門):** - いかなる抗議も、ライダー、またはライダーとその代理人(18 歳未満の場合)のみが行うことができる。

1. 抗議する前に、ライダーは WWA ガイドラインのジャッジシート結果ページに目を通し、各ジャッジの公式採点と順位を確認することができる。もし全てのジャッジが同じように採点した場合、チーフジャッジもしくはチーフスコアキーパーはライダーにその結果が最終的なものであり、抗議は認められないことを伝えることができる。

2. このとき、ライダーが抗議をしたい場合は、公式結果発表直後から 30 分以内の間に行ったトリックを「ライダーランシート」に記入しなければならない。掲示された発表時刻はスコアラに提出される。ライダーはこの公式タイムを要求することができる。

3. その後、チーフジャッジはライダーのランシートとスコアシートを確認し、ジャッジがトリックを正しく書き込んでいるかを確認する。トリックが正しい場合、チーフジャッジは抗議を却下することができる。もしチーフジャッジがジャッジのスコアシートに矛盾を見つけた場合、直ちにジャッジと面談する。ジャッジはその矛盾が自分のシートに記載されていることを確認し、自分の得点と順位が正しいかを確認するために自分の得点を再評価する。ジャッジの判断に間違いがなければ、問題は解決する。結果は最終的なものである。ジャッジが変更を行った場合、チーフジャッジはスコアキーパーに変更を記録させ、新しい結果を掲示する。ジャッジが得点を変更した後、順位が変更される場合もあれば、変更されない場合もある。

必要であれば、全ジャッジがライダーと会って抗議について話し合う。これは必須条件ではなく、チーフジャッジによって決定される。

4. チーフジャッジは、抗議が提示されてから 20 分以内にライダーに抗議の結果を伝えるよう最善の努力をする。抗議の最終決定権はチーフジャッジにある。ライダーは抗議の問題について各ジャッジに接触することはできない。プロテスト中にジャッジに嫌がらせをしたり、侵害的な言葉を用いたりしたライダーは許されず、行動規範と適用される罰金の対象となる。

5. ライダーが将来のために自己啓発をしたい場合は、競技終了後に行うことができる。競技終了時にライダーが同席している場合、チーフジャッジはライダーがジャッジと話をしよう最大限の努力をする。

6. 競技中、水上から抗議する場合 - 抗議は無線でチーフジャッジに伝える必要がある。WWA チーフジャッジは抗議を聞くために待機している。チーフスコアラーは、ライダーが署名してフォームを完了するまで、公式抗議フォームに抗議を記録する。チーフジャッジは、抗議を解決するために適切な手順を踏む。ライダーは、パスを再開する前、または次のアスリートがパスを開始する前に、抗議を表明する必要がある。ライダーは、水上でこれを明確に伝える責任がある。

7. すべてのジャッジは、各日の最終競技終了直後にチーフジャッジの席に着くよう最善の努力を払い、公式結果発表後 20 分間はその場に留まり、質問に答える。また、公式結果発表後 20 分間はその場に留まり、質問に答える。そのため、チーフジャッジと残ったジャッジが最終的な判断を行う。

8. 全てのライダーはシーズン中に 1 回の抗議が許される。ライダーが抗議書を提出した場合、それは「抗議」としてカウントされる。抗議がライダーによって勝ち取られた場合、そのライダーは抗議を使い切ることはない。抗議が無効であった場合、ライダーはそのシーズンの抗議を失う。ライダーが抗議を使い切った後、間違った採点をされたと感じた場合、追加の抗議を行うことができるが、この抗議には現金 200 ドルを添付しなければならない。ライダーの抗議が有効であれば、200 ドルは返却される。そうでない場合、200 ドルは WWA が保管する。ライダーは何度でもこの方法で抗議することができる。

9. 抗議はジャッジの審判および競技役員の運営に対しては、いかなる抗議も認められない。

## 審査:

すべてのライダーは DRIVE システムを使って審査される。ウェイクサーフィンの審査は主観的な評価である。競技イベントにおいては、この評価は得点に変換されなければならない。採点基準の要素は、主観的な評価を数値に変換するために利用される方法論である。採点基準の要素には、主観的なカテゴリーである難易度(Degree of Difficulty)、リスク(RISK)、強度(Intensity)、多様性(Variety)、実行(Execution)(D.R.I.V.E.)が含まれる。ジャッジは、難易度、リスク、激しさ、多様性、実行力に分けて、最も多才なライダーを選出する。

競技のジャッジは 3 名以上で行う。ジャッジはボートから、または岸から、あるいはその両方からジャッジすることができる。Division により、書記を配置することがある。

ウェイクスポーツは主観的に評価されるスポーツである。トリックに事前に決められたポイントはなく、各競技者は好きなトリックを好きな順番で自由に実行できる。ヒットやトリックの最大数や最小数に制限はないが、ライダーは割り当てられた時間とコースを最大限に活用することが求められる。ライダーは実行したトリックの数ではなく、質で評価される。各トリックは、技術的な難度に関係なく、全体のランの一部としてのみ、それ自体の質に基づいて採点される。

採点:

審査員は 3 名である。各審査員の得点は、全体の得点の 33.3%を占める。審査員は各ライダーに 1 から 10 の点数を付ける。3 人の審査員の得点を平均して、100 点満点の全体得点を

算出する。審査は主観的な評価である。競技イベントにおいては、この評価は得点に変換されなければならない。順位に対して事前に決められた値はない。採点基準の要素は、主観的な評価を数値に変換するために利用される方法論である。各審査員は、DRIVE 基準に基づいてライダーの走行を分析し、適切な点数を付ける。第一走者は 3 人のジャッジで点数を合わせる。第二走者以降、審査員はライダーの走行のパフォーマンスに応じてライダーに加点や減点を行い評価をする。採点基準の要素には、主観的なカテゴリーである難易度 (Degree of Difficulty)、RISK、力強さ (Intensity)、多様性 (Variety)、実行 (Execution) (D.R.I.V.E.)が含まれる。これらの主観的採点基準を以下に説明する。

D 難易度

R リスク

I 力強さ

V 多様性

E 完成度

D 難易度:

- トリックの難易度 (技術的難易度) - 各トリックの難易度はいくつかの変数に基づく。

ジャッジは、あるトリックが他のトリックと比較してどれほど難しいかを主観的に定義し判断する。

難易度を反映する変数には以下のものが含まれるが、これらに限定されるものではない:

スタンス: スタンス:スイッチ対ノーマル、ヒールサイド対トゥサイド(サーフェストリックではアプローチとフィニッシュ、エアリアルトリックではテイクオフとランディング)。

コンビネーション: 複数のトリックが連動していること、およびその順番。

装飾: グラブ・トリックとグラブの種類、失速したトリック、ツイーク、ボーン、不安定なトリックなど。

ボードの方向性: ボードの向きを戻して行うトリックと前進して行うトリック。

回転数:

革新性: これまでにないトリックを行うこと。トリックの新しい方法を紹介すること。これは、いくつかの変数に基づいて各トリックの難易度として簡単に定義される。

R リスク:

・ コースに関連したトリックの難易度 - 技術的に難しいトリックでランを開始するライダーは、高リスクと見なされる。リスクは、ライダーがトリックをどのように実行するか、対戦相手に勝つために「すべてを賭ける」感覚を示しているかどうかによっても示される。

I 力強さ:

・ ジャッジは、選手がどれだけアグレッシブに、どれだけパワフルに演技を行っているかを見るべきである。絶え間なく動いているか、コンビネーションのペース、そしてトリックの高さ、スピード、パワーはすべて、ジャッジが主観的に選手のインテンシティ・スコアを決定する際の要素となる。インテンシティに関する考慮事項は以下の通りであるが、これらに限定されるもので

はない:

各トリックの背後にある力の大きさ(例えば、スナップターンからの大きな飛沫によって示される)。

パンピングによって生み出されるスピード。

ターンとボトムターンのパワー。

トリックのペース。

回転の速さ。

ここで、審査員はライダーが各トリックをどれだけ大きく、または高く実行しているかを確認する。これは通常、審査員シートにプラス記号「+」で示される。トリックが非常に高かった場合、審査員は審査員シートでその横にプラス記号を 2 つ「+ +」と付ける。同様に、小さいトリックにはマイナス記号「-」が付く場合がある。

V 多様性:

競技ランで行われるトリックの多様性は、最も多才な選手を決定するためにジャッジが注目する点である。ウェイクサーフィンの滑走は、ターン、オーリー、エア、ショービット、ローテーション(体および/またはボード、エアまたはサーフェス、フロントサイドまたはバックサイド)などのトリックを基礎として構築される。選手によって行われたトリックの多様性、またはトリックの組み合わせは、主観的採点項目である「多様性、バラエティ」に反映されるべきである。多様性を評価する際に考慮すべき項目は以下の通りであるが、これらに限定されるものではない:

選手は多様な数のトリック(ターン、オーリー、エア、ショービット、ローテーション)を行ったか?  
選手はさまざまなタイプのトリックを行ったか、それともすべて同じトリックをベースにしていたか。

例えば、サーフェス 360、540、720 は、それぞれがサーフェスボードの同じ方向への回転をベースにしているため、性質はすべて似ている。

選手はコンビネーションを行ったか。コンビネーションには異なるトリックが含まれていたか、あるいはコンビネーションを行うことでトリックが繰り返されていたか。

選手は異なるスタンス(ノーマルとスイッチ、つま先側とかかと側)でトリックを行ったか。

選手は異なるルール(ボードスライド対リップスライド、ヒールサイド対トゥサイド)のトリックを行ったか。

選手は複数のクラブを使用したか、またそのクラブは異なっていたか。

選手はボートの両側(右舷と左舷の波)で演技したか。トランスファーの移動操作は実行されたか。

選手は board and/or body(360、720 の両方向に回転、ボディバリエーション)の回転技を行ったか。

主観的なカテゴリーの採点において絶対的な決定要素ではないが、実施されたトリックの総数は適切に考慮される。

E 完成度:トリックの完成 - これは基本的に、空中または波の上でトリックがどのように実行され、ライダーがコントロールできているかということです。トリックの最中におけるコントロールと姿勢の良さは、ライダーがそのトリックに自信を持っていることを示し、その結果、トリックが成功したことを意味する。トリックのコントロールと実行は、ライダーが行おうとしているトリックを完遂していることも意味する。

例: ライダーが 360 を試み、トリックの途中でつまずいて 180 しか実行しなかった場合、ライダーがコントロールできていないことを示す。

着地 - これは、トリックの着地がどれだけきれいだったかである。転倒を避けるために 180 に切り替えたり、着地後にコントロールが効かなくなったように見えたりすると、完成カテゴリーに悪影響を与える可能性がある。

完璧さ - 審査員は、パスで各トリックがどれだけ美しくまたは完璧であったかを求めている。審査員は、アプローチ、体の位置、技の回転、体の軸、頭の位置、スラップではなくきれいなグラブ、技を披露したスピードを見ている。ライダーが転倒することなくルーチンを完遂することも完璧さを示している。

フロー: フローとは、ライダーが技を一緒に披露し、技がスムーズにつながっているように見えることだ。たとえば、ライダーがトリックスイッチを成功させ、連続して次の技を披露するときなどである。フローがうまくないライダーは、技間の移行で長くポンピングやマニューバーを行ったり、コースを早く終了したりする。

ライダーはトリックをカスタマイズしたり、自分のものにしたりしたのだろうか？

スムーズで流れるような走行を実現するには、コースマネジメントと時間の創造性が欠かせない。時間をかけて自分の走りを計画し、どのように走るかを考えているライダーは、この分野で加点される。また、独創的なトリックやマニューバーをつなぐことができるライダーも評価される。ジャッジは、コースの時間と長さをフルに使い切るライダーに注目する。

ジャッジは着地に成功したトリックのみを採点する。ライダーの走行の中でどこで転倒が起きたか、また何回転倒したかは、ライダーのランの全体的な見た目や流れに影響を与える。

通常の競技形式 - ウェイクスポーツは、予選/準々決勝、準決勝、決勝を含む 1 回戦、2 回戦、3 回戦、または 4 回戦で争われる。ラウンドは天候、エントリー数、テレビ放送、あるいはナショナルズが指定するその他の状況により変更されることがある。ラウンド数は WWA が決定する。

ヒート:

すべてのライダーウェイクスポーツはヒート方式を採用する。クォーターファイナルでは、前述によって決定された競技者のシード番号によって決定される。すべての選手は、掲示された出走順に従って競技を行わなければならない。もし選手が出走順から外れた場合、その選手の得点はカウントされない。

## シード:

準決勝と決勝のシードは、前のラウンドの順位によって決まる。もし両者の最終順位が同じであれば、準々決勝で使用されたオリジナルの滑走順でシードする。

出走順 - ラウンド数はエントリー数によって決定される。すべての選手は掲示された出走順で競技を行わなければならない。出走順から外れた選手の得点はカウントされない。

ランキングリスト順位に応じてポイントが与えられるランキングリストのポイント制が採用される。

## プレースメント・ポイント

1位 100点 2位 90点 3位 80点 4位 75点 5位 70点

6位 65点 7位 60点 8位 55点 9位 51点 10位 47点

WWA Japan ASIA ウェイクシリーズの年間チャンピオンは AWSF 各国ツアーおよびノーティックウェイクサーフ・ワールドシリーズ全大会のポイントを合算して決定される。年間チャンピオンは、各シリーズの全大会のポイントを合算して決定される。トップが同点となった場合のタイブレーク基準は以下の通り:最初のタイブレークは、最も多くの1位を獲得したライダー。2番目のタイブレークは、2位入賞が最も多いライダー。第3のタイブレーカーは、ツアー最終戦で最高位を獲得したライダー。

## 賞金:

賞金の内訳 - 賞金の内訳は、イベントごとに決定される。内訳の情報は、選手が確認できるように登録ディレクターに保管される。

## 大会の形式:

WWA スタンダード・ウェイクサーフ・フォーマット:

### 概要:

ライダーは主観的に判断される2パス走を行い、ボートは各方向のコースに沿って直線的な経路で各パスを走行する。各ライダーはコースのトリックの合計で採点される。

出場者はチーフジャッジが指定しない限り、コース内で好きなトリックを好きな数、好きな順番で行うことができる。ライダーは、技の難易度や熟練度、トリックの大きさ、トリックのバリエーション、技術的難易度、走りの創造性や流動性などを審査される。

### コース

○ 天候により下記より選択 当日朝にアナウンスいたします。

● コースは2パス、各パスは11.2-11.5 mphで45秒-60秒である。

ライダーは、パスごとに1ピックアップ(2フォール)が許可される。

● コースは1パス、11.2 mphで60秒である。

ライダーは、パス間2ピックアップ(3フォール)が許可される。

また、2回目のパスでは、コースの4分の3の地点にブイが設置される。各大会において、これらのブイがどこにあるかを把握しておくことは出場者の責任である。大会主催者および/またはチーフジャッジは、3/4ブイを使用しないことを選択することができる。

### 走行:

ライダーはスタート地点を離れ、ボートが最初のスタートブイに到達した時点で採点を開始する。ファーストパス終了後、ボートはエンドコースブイを通過した後にターンしてライダーを降ろし、再びターンしてコースに進入する。ライダーはコース内で開始されたトリックについて審査される。ライダーはブイの手前で技を開始することができるが、ブイ付近またはブイで技を着地または完了させなければ、トリックとして認められない。

コース外を理由にトリックを不認定とするには、採点ジャッジ全員の同意が必要である。

ライダーは 2 つ目のコースブイの後、すぐに競技が再開できるように準備していなければならない。コースの端でトリック中にボートがターンや停止した場合、再ライドは与えられない。

ライダーはフォール後、フォールした場所から走行を続ける。フォール時、ボードはジャッジの指示がない限り自身で拾いに行かない。

トリックの順番は自由である。トリックの数に上限や下限はないが、ライダーは大きく、クリーンで、よくできた、パワフルなトリックを披露することが奨励される。ライダーは量よりも質を重視し、自分の能力の範囲と限界を示すべきである。これらの能力には、さまざまな技をこなすこと、それぞれの技を限界までこなすこと、ルーチンの中で創造性と流動性を発揮することなどが含まれるが、これらに限定されるものではない。ルーチンの採点では、ライダーが行う全てのトリックが評価される。各出場者は、主観的なカテゴリーのみを使用し、そのヒートに出場した他のライダーとの比較のみで審査され、1 つの合計得点が導き出される。

### コミュニケーション:

栈橋を離れる前にドライバーにボートの適切なスピードを伝えることはライダーの責任である。ライダーはまた、サーフするウェイクのサイドや乗り換えなど、具体的なことを伝えなければならない。連絡ミスによる再乗艇はない。ライダーはセカンドパスの 4 分の 3 地点を超えて転倒した場合、また、終了ブイまでに波の形成ができないと判断された場合、ライダーはピックアップされない。

### 審査:

各出場者のその滑走は同じヒートの他の滑走と比較され、それらの滑走に対してのみ順位が付けられる。どのトリックにもあらかじめ決められたポイントはない。このルーチンの審査は、ライダーがドックを出た時点から始まり、以下の時点で終了する:

- a) 割り当てられた時間／ランが終了する
- b) 最大転倒回数に達した場合

### 採点:

上述を参照

### シード:

ヒートパターンの例:

ヒート#1:シード 6、7、18、24、25(出走順。)

ヒート#2:シード 5、8、17、23、26(出走順。)

第3ヒート:シード4、9、16、22、27(出走順。)

第4ヒート:シード3、10、15、21、28(出走順。)

第5ヒート:シード2、11、14、20、29(出走順。)

第6ヒート:第1シード、第12シード、第13シード、第19シード、第30シード(出走順。)

その他の人数も同じ形式で決定される。

予選において、順位は競技者のシード番号によって決定される。シードがない場合、主催者により滑走順が決定される。シード番号は、ランキングリストおよび／または大会主催者が使用する基準によって決定される。すべての選手は、掲示された滑走順に従って競技を行わなければならない。もし、選手が順番から外れて走った場合、その選手の得点はカウントされない。

準決勝と決勝のシード順位は、前のラウンドの順位によって決定される。もし両者の最終順位が同じであれば、その前のラウンド、さらにその前のラウンドまで遡り、予選で使用されたオリジナルの滑走順でシード権を決定する。(例えば、AライダーとBライダーがともに準決勝のヒートで1位となり、誰が決勝のトップシードかを決めなければならない場合、準々決勝の順位に戻り、そこでAライダーとBライダーがともに1位となった場合は、準々決勝の順位に戻る)

## 附則

### 初心者クラスのトリック

1回 360 - OK (何度でも試すことができます)

Surface 180 - OK (SKIMのみ)

オーリー (ボトムでのみ) - OK

ボディバリエーション - 許可されません

チョップホップ - 許可されません

エアー - 許可されません

Surface、波を利用したオーリー180 - 許可されません